2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　株式会社エージェントＩＧホールディングス　　上場取引所　名
コード番号　　377A　　ＵＲＬ　https://a-gent.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）一戸　敏
問合せ先責任者　（役職名）取締役専務上級執行役員　　（氏名）高橋　真喜子　　ＴＥＬ　03-6280-7818

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	10,915	13.6	235	210.1	223	208.1	120	356.7
2025年12月期第３四半期	9,606	－	75	－	72	－	26	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　121百万円（710.6%）　2025年12月期第３四半期　14百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	41.76	－
2025年12月期第３四半期	11.34	－

（注）１．当社は、2025年７月１日に単独株式移転により設立されたため、2025年12月期第３四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。また、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
２．前第３四半期連結累計期間において、「特別利益」の区分に表示しておりました「固定資産売却益」は「営業外収益」の区分に、「特別損失」の区分に表示しておりました「移転損失」、「固定資産除却損」及び「その他」は「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。詳しくは、Ｐ．７「２.四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（表示方法の変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,667	2,178	31.6
2025年12月期	6,289	2,048	31.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　2,105百万円　2025年12月期　1,984百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	－	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．当社は、2025年７月１日に単独株式移転により設立されたため、2025年12月期第２四半期までの実績は記載しておりません。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	11.0	260	79.0	245	72.8	140	―	48.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	2,879,848株	2025年12月期	2,879,848株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	―株	2025年12月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	2,879,848株	2025年12月期３Ｑ	2,322,848株

（注）当社は、2025年７月１日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績は、会社設立前の2025年１月１日から2025年６月30日までの期間については、株式会社エージェント・インシュアランス・グループの期中平均株式数を用いて算出し、2025年７月１日から2025年９月30日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて算出しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（表示方法の変更に関する注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続く一方、物価上昇や海外情勢に起因する先行き不透明感が引き続き見られました。国内保険業界においては、少子高齢化や販売チャネルの多様化に加え、募集品質やガバナンス体制の高度化が求められる中、業界再編の動きが一段と加速しています。

特に、2026年６月に施行された保険業法の一部改正（以下「改正保険業法」という。）により、保険会社に対する体制整備の強化に加え、当社グループの主要な子会社である株式会社エージェント・インシュアランス・グループ（以下「エージェント・インシュアランス・グループ」という。）及びファイナンシャル・ジャパン株式会社（以下「ファイナンシャル・ジャパン」という。）が該当する「特定大規模乗合保険募集人」に対しても、体制整備義務の上乗せ規制が課されております。これを受け当第３四半期連結累計期間においては、規程類の整備、募集管理体制の強化、内部監査体制の充実等、両社における体制整備を計画的に進め、同規制の適用下での運用を開始してまいりました。

このような経済環境のもと、当社グループはこの業界の転換期を2027年以降に利益増へつながる高収益体質へ移行するための重要な準備期間と位置づけ、「構造改革による収益性改善」と「将来の利益率向上に向けた３つの重点投資」を軸に事業を推進いたしました。グループ人事構造の最適化によるコスト低減を進めるとともに、改正保険業法に対応した「①ガバナンス基盤の強化」、人財生産エンジンの内製化による「②次世代人財基盤の構築」、そしてグループ共通基幹システム（A-System）の刷新による「③生産性・DX基盤の強化」に対し、戦略的な先行投資を計画的に進めております。

この結果、当第３四半期連結累計期間における営業収益は10,915,866千円（前年同期比13.6％増）、営業利益は235,122千円（同210.1％増）、経常利益は223,858千円（同208.1％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120,274千円（同356.7％増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①　国内事業

国内事業においては、経営課題を抱える保険代理店に対する事業承継の受け皿として積極的なM＆Ａを引き続き実施するとともに、合流した募集人による損害保険・生命保険のクロスセルを推進いたしました。特にファイナンシャル・ジャパンにおいては、生命保険の新規契約が計画を上回って推移いたしました。また、エージェント・インシュアランス・グループにおいては、株式会社アドバンスクリエイトからの保険契約等の譲受について、最終契約の締結及び資産譲受が完了いたしました。同譲受により取得した保険契約等に係る保険手数料収入は、９月以降、順次計上しております。

エージェント・インシュアランス・グループ、ファイナンシャル・ジャパンにおいては、改正保険業法への対応として、募集管理態勢の強化、コンプライアンス研修の拡充、内部監査体制の充実等を計画的に推進いたしました。費用面につきましては、将来の飛躍的な収益拡大を見据え、こうした体制整備に係る先行費用を計画的に投入いたしましたが、グループ統合に伴う構造改革によるコスト低減効果については、一部発現し、第４四半期以降、段階的に見込んでおります。

この結果、同事業の当第３四半期連結累計期間における営業収益は10,620,062千円（前年同期比13.5％増）、セグメント利益は172,712千円（同252.7％増）となりました。

②　海外事業

米国を中心とする海外事業においては、ローカルマーケットの開拓や既存顧客へのクロスセルを推進し、営業収益の拡大に努めました。また、法人保険部門において主要提携保険会社からの収益配分収入が順調に推移いたしました。

この結果、同事業の当第３四半期連結累計期間における営業収益は300,170千円（前年同期比20.1％増）、セグメント利益は51,146千円（同116.0％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は4,125,343千円となり、前連結会計年度末に比べ322,487千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が400,509千円減少、売掛金が50,965千円増加したことによるものであります。

固定資産は2,536,359千円となり、前連結会計年度末に比べ702,075千円増加いたしました。これは主に顧客関連資産が604,178千円増加、のれんが59,978千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は6,667,344千円となり、前連結会計年度末に比べ377,634千円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は3,707,528千円となり、前連結会計年度末に比べ440,310千円増加いたしました。これは主に営業未払金が263,097千円増加、短期借入金が200,000千円増加したことによるものであります。

固定負債は781,351千円となり、前連結会計年度末に比べ192,803千円減少いたしました。これは主に長期借入金が194,157千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,488,880千円となり、前連結会計年度末に比べ247,507千円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は2,178,464千円となり、前連結会計年度末に比べ130,127千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が120,274千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は31.6％（前連結会計年度末は31.6％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました通期連結業績予想を、直近の業績動向を踏まえ、2026年９月30日付けで修正しております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,745,606	2,345,096
売掛金	1,491,765	1,542,730
その他	219,975	246,770
貸倒引当金	△9,515	△9,254
流動資産合計	4,447,831	4,125,343
固定資産		
有形固定資産	118,288	143,200
無形固定資産		
のれん	882,584	942,563
顧客関連資産	344,877	949,055
その他	59,635	64,934
無形固定資産合計	1,287,097	1,956,553
投資その他の資産		
繰延税金資産	270,288	269,956
その他	159,109	167,149
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	428,898	436,605
固定資産合計	1,834,283	2,536,359
繰延資産	7,594	5,642
資産合計	6,289,709	6,667,344
負債の部		
流動負債		
短期借入金	―	200,000
１年内返済予定の長期借入金	273,306	262,244
営業未払金	1,806,543	2,069,640
未払法人税等	105,416	45,953
代理店手数料返金負債	378,939	427,208
賞与引当金	198,399	237,474
その他	504,612	465,008
流動負債合計	3,267,217	3,707,528
固定負債		
長期借入金	972,800	778,643
その他	1,354	2,708
固定負債合計	974,154	781,351
負債合計	4,241,372	4,488,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	397,846	397,846
資本剰余金	1,257,209	1,257,209
利益剰余金	288,874	409,149
株主資本合計	1,943,930	2,064,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	233
為替換算調整勘定	40,382	41,392
その他の包括利益累計額合計	40,645	41,625
新株予約権	63,761	72,633
純資産合計	2,048,337	2,178,464
負債純資産合計	6,289,709	6,667,344

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業収益	9,606,950	10,915,866
営業費用	9,531,137	10,680,743
営業利益	75,813	235,122
営業外収益		
受取利息	1,441	4,364
固定資産売却益	768	3,444
受取補償金	8,413	－
その他	6,894	5,072
営業外収益合計	17,518	12,882
営業外費用		
支払利息	14,197	17,455
その他	6,478	6,690
営業外費用合計	20,676	24,146
経常利益	72,655	223,858
税金等調整前四半期純利益	72,655	223,858
法人税等	46,321	103,583
四半期純利益	26,333	120,274
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,333	120,274

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	26,333	120,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111	△29
為替換算調整勘定	△11,487	1,009
その他の包括利益合計	△11,375	979
四半期包括利益	14,958	121,254
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,958	121,254

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更に関する注記）

（四半期連結損益計算書）

前第３四半期連結累計期間において、「特別利益」の区分に表示しておりました「固定資産売却益」並びに「特別損失」の区分に表示しておりました「移転損失」、「固定資産除却損」及び「その他」は、特殊な事情に起因するものを除き、今後経常的に発生すると見込まれるため、「固定資産売却益」については「営業外収益」の区分に、「移転損失」、「固定資産除却損」及び「その他」については「営業外費用」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替えを行っております。この結果、前第３四半期連結累計期間の経常利益が75,009千円から72,655千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	84,629千円	94,554千円
のれんの償却額	48,954千円	52,945千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	国内事業	海外事業	四半期連結財務諸表計上額
営業収益			
保険代理店事業	9,276,704	249,919	9,526,624
その他	80,326	－	80,326
顧客との契約から生じる収益	9,357,031	249,919	9,606,950
外部顧客への営業収益	9,357,031	249,919	9,606,950
セグメント間の内部営業収益又は振替高	－	－	－
計	9,357,031	249,919	9,606,950
セグメント利益	48,972	23,682	72,655

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額
	国内事業	海外事業	計		
営業収益					
保険代理店事業	10,503,875	300,170	10,804,046	－	10,804,046
その他	111,820	－	111,820	－	111,820
顧客との契約から生じる収益	10,615,695	300,170	10,915,866	－	10,915,866
外部顧客への営業収益	10,615,695	300,170	10,915,866	－	10,915,866
セグメント間の内部営業収益又は振替高	4,366	－	4,366	△4,366	－
計	10,620,062	300,170	10,920,233	△4,366	10,915,866
セグメント利益	172,712	51,146	223,858	－	223,858

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。